

2023 年度 事業報告書

I. 事業状況

山岡記念財団は、「日本及びドイツ並びに欧州の学術及び文化の交流を行い、もって日本及びドイツをはじめとする欧州の社会の持続的な発展に寄与する」とした定款第3条に基づき「学術」「芸術」「スポーツ」「人的交流」の4つの事業に分類し、日独を基軸として学術及び文化交流事業活動を行った。

以下に事業活動の概要を報告する。

1. 事業活動の概要

【学術事業】

(1) 「第6回 科学技術講演会」

- 1) 開催日時： 2023年4月27日(木) 16:00~19:00
- 2) 場 所： 京都大学国際科学イノベーション棟
- 3) テーマ： 「持続可能な社会に向けた食と農林水産業のあり方」
サブテーマ： 「持続可能なタンパク源の生産」
- 4) 講演者： ・ 廣野 育生教授
(東京海洋大学 学術研究院海洋生物資源学部門)
・ ハインツ ベルンハルト教授
(ミュンヘン工科大学 農業システム工学部長)
- 5) 総合討論： [モデレーター] 後藤 貴文教授
(北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター)
今年は会場参加の制限はせず、オンラインを併用したハイブリッド式の開催とし、国内外合わせて124名が参加した。
- 6) 京都大学学生とのディスカッション(翌日4月28日)
科学技術講演会で講演いただいたベルンハルト教授をはじめ、京都大学大学院農学研究科の近藤直教授とその学生8名でディスカッションが行われました。

(1) 「第8回 若者文化シンポジウム」 — 研究助成成果発表会 —

- 1) 開催日時： 2024年3月13日(水) 16:00~20:00
- 2) 場 所： ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川
- 3) テーマ： 国際比較からみる若者のアイデンティティと社会参加
- 4) 研究者： ・ 歌川 光一氏
(聖路加国際大学大学院看護学研究科准教授)
テーマ：「若者の「趣味(Hobby)」に対する認識の日独比較」
・ 欧陽 珊珊氏
(立命館大学大学院 先端総合学術研究科一貫性博士課程5回生)
テーマ：「障害のある性的少数者」の若者がいかに社会運動に参加しているか
— 日本とドイツにおける LGBT 運動の比較から —

・マルテ シェーネフェルト氏

(ヴッパータール大学 公共安全・危機管理研究所
嘱託研究員兼博士課程)

テーマ：「青少年の自発的な防災活動への参加
— 日本とドイツの比較分析」

・アンナ シュラーデ氏

(元関西学院大学准教授)

テーマ：「ビーガン — 我々はできます！ドイツと日本の
若者のビーガンライフスタイルの選択」

・山口 遥子氏

(独立行政法人日本学術振興会特別研究員(PD)、
早稲田大学・成城大学非常勤講師)

テーマ：「日本とドイツにおけるリソグラフ文化の現在」

進行： 田野 大輔氏 (甲南大学 文学部教授・山岡記念財団諮問委員)

5) 参加者 : 65名 (オンライン参加含む)

●次年度研究助成採択者

①ベン メラー 氏 (オックスフォード大学博士課程)

研究テーマ：「日本とドイツの陸軍士官学校における反軍国主義と
再軍備の和解」

②ジャスミン リュッケルト氏 (ハインリヒ・ハイネ大学デュッセルドルフ、
講師、博士号取得予定)

研究テーマ：「紛争から理解へ：子どもたちに戦争について教育する
日独博物館の戦略」

③リュウ カイウェン 氏 (東京大学大学院学際情報学府 博士号)

研究テーマ：「芸術と政治の境界交渉：日独比較」

④スティーブン アイビンス 氏 (京都大学 准教授)

研究テーマ：「ドイツと日本の戦後移民の記憶文化」

⑤櫃割 仁平 氏 (京都大学大学院教育学研究科・博士後期課程3年)

研究テーマ「日本舞楽鑑賞時の感情的反応に関する日独文化比較研究」

【芸術事業】

(1)「デュオ・リサイタル」

1) 開催日時： 2023年7月9日(日) 14:00~15:30

2) 場所： ヤンマーミュージアム

3) 演奏者： 篠原猛浩氏&安積京子氏

4) 入場者数： 122名

(2)「中学校吹奏楽部生徒への楽器クリニック&アンサンブル演奏会」(長浜市)

- 1) 開催日時： 2023年11月3日(金・祝)9:45~16:00
- 2) 場 所： 長浜西中学校、高月中学校
- 3) 講 師： 大阪フィルハーモニー交響楽団メンバー 他

(3)「第7回 高等学校吹奏楽部公開レッスンコンサート」(尼崎市)

- 1) 開催日時： 2023年11月5日(日)14:00~17:00
- 2) 場 所： あましんアルカイクホール
- 3) テーマ： クラシック音楽を通して音楽の素晴らしさを分かち合おう!
- 4) 出演者： 指揮者 北原幸男氏

(第1部)

尼崎県立尼崎北高等学校 / 尼崎県立尼崎西高等学校
尼崎県立武庫之荘総合高等学校

(第2部)

尼崎市立尼崎双星高等学校

<支援参加>

大阪フィルハーモニー交響楽団メンバー 他

- 5) 課題曲： 第1部 フローレンス行進曲 — モーリス・ラヴェル
第2部 スペイン狂詩曲 — リヒャルト・ワーグナー

- 6) 入場者数： 517名

(4) 小学校での音楽アウトリーチ

- 1) 開催日時： 2023年10月31日(火)13:15~14:50
- 2) 場 所： 尼崎市立潮小学校体育館
- 3) 出演者： ターリストリオ

《実施内容》

5年生を対象にヴァイオリン、チェロ、ピアノの演奏会を実施した。演奏終了後はアウクスブルクについてのクイズや質問コーナーを設け、子供たちからの質問が飛び交い、ドイツへの好奇心や外国の文化に触れるきっかけの場となった。最後に小学生がリコーダーでターリストリオと一緒に「春よ、来い」を演奏し、盛り上がりのあるアウトリーチとなった。

加えて、11月3日(金・祝)には尼崎アルカイクオクトにて、ヴィオラ奏者上川忠昭氏とのセッションを通じた四重奏も開催した。

(5)「アート・デザイン・ものづくりのためのラボ」

- 1) 開催日時： 2023年4月~2024年3月
- 2) 場 所： 京都市内、オンライン

《実施内容》

2021年に立ち上げた本プロジェクトは、2025年に大阪・此花区の会場で開催される大阪・関西万博への進出を目指し、昨年に引き続き、以下3つのプロジェクトが進行した。それぞれのグループが、各々のタイミングとアプローチ方法でプロジェクトを進めた。

- ① タイトル：ユートピアシアター／村としての劇場
バーバラ・エーネス&マックス・カルラ・アッシュエンブレナー／
横山竹材
 - ② タイトル：デジタル&アナログ建築プロジェクト
ハネス・マイヤー&アンズカー・シュタウト／匠弘堂
 - ③ タイトル：暮らしと日常の中のデザイン
カイ・リンケ／佐藤清松商店
- (6) ポラリス音楽祭

- 1) 開催日時： 2023年10月28日(土)～10月29日(日)
- 2) 場 所： 吹田市文化会館メイシアター

《実施内容》

音楽監督の岡原慎也氏が中心となり立ち上げられたイベントで、次世代を担う子どもたちをはじめご来場の方々に、クラシック音楽を身近に感じていただくことを目的として、賛助会員やグループ社員とその家族を中心に招待した。

【スポーツ事業】

(1) セレッソ大阪アカデミー U-13 スペイン遠征

- 1) 日 程： 2023年9月4日(月)～9月12日(火)
- 2) 場 所： アルネド、マドリード(スペイン)
- 3) 人 数： 選手18名、スタッフ5名

《実施内容》

世界の強豪チームと対戦することで世界レベルのサッカーを体感し、世界で戦える選手を目指すことを目的にセレッソU-13がスペイン遠征を行った。

遠征前から準備をして取り組んできた事がスペインでも通用し、決勝トーナメントに進出することができたことが今回の遠征での成果。

フィンランド/ヘルシンキでの観光、スペインでの靴工場見学など試合以外の部分でも異国の文化を学ぶことができた。

(2) DREAM-SOCCER-CAMP

- 1) 開催日時： 2023年11月19日(日)10:00～18:00
- 2) 場 所： 浅井ふれあいグラウンド、浅井文化ホール
- 3) 講演者： 佐藤寿人氏(元サッカー日本代表)

《実施内容》

ヤンマーホールディングス スポーツビジネス部、セレッソ大阪の支援を受け元日本代表 佐藤寿人氏を招いて、午前は小学校5・6年生、午後は中学生を対象にサッカー教室、その後、保護者等も参加し西川氏のMCによるトークショーを開催した。サインボールやシューズのじゃんけん大会など、子供たちの記憶に残るイベントとなった。

【人的交流事業】

(1) 賛助会員年次総会

- 1) 開催日時： 2023年5月31日(水) 16:00~18:00
- 2) 場 所： ヒルトン大阪
- 3) 講 演： 柳原伸洋氏(東京女子大教授)
講演テーマ： 「私たちの日常に融け込む「ドイツ」の可能性
—若者文化を中心に—」
- 4) コンサート： 三浦一馬氏(バンドネオン)
大阪フィルハーモニー交響楽団メンバー 他
- 5) 参加人数： 146名

《実施内容》

まずは司会より役員紹介、次に山岡理事長挨拶、松本眞尼崎市長からの祝辞、雪野常務理事から事業報告をした後、柳原伸洋教授より講演、そしてバンドネオンのアンサンブルが披露され、その後の懇親会を開催した。

人数制限なしの年次総会は4年ぶりということもあり、会員間での交流が深まり、笑顔でお帰りになる参加者が多かったことがとても印象的であった。

(2) ヴィラ鴨川 クリスマスマーケット

- 1) 開催日時： 2023年12月1日(金)~12月2日(土)
- 2) 場 所： ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川
- 3) 来場者数： 約3,800名

《実施内容》

クリスマスマーケットは、ヴィラ鴨川の名物イベントとして定着してきた。2023年は京都にゲーテ・インスティトゥートが開設されて60年の節目の年であり、またケルン市が京都市と姉妹都市関係を提携して60年目の年でもあったことから、京都市、ケルン市とも協力して、5回目となるクリスマスマーケットを開催した。

(3) Music in the hall

①ケルン雅楽アンサンブルによるドイツの雅楽トークコンサート

- 1) 開催日時： 2023年9月29日(金) 19:00~
- 2) 場 所： ゲーテ・インスティトゥート ヴィラ鴨川

《実施内容》

ケルン大学音楽学研究所が主体となって創設したヨーロッパ初の雅楽アンサンブルで、演奏会は雅楽や楽器の説明も交えたトーク演奏会の形式で行われ、60名ほどの来場者があった。

②サウンドインスタレーション(森林浴)

- 1) 開催日時： 2023年11月17日(金)~11月30日(木)
- 2) 場 所： ゲーテ・インスティトゥート ヴィラ鴨川

《実施内容》

日系フィリピン人の音楽家・サウンドアーティストが、ヴィラ鴨川の日本庭園にスピーカー設置し、「浴びる」音の森を作り出し、約2週間、ヴィラの

来場者に公開した。

③「自分の一部」 映像と音楽のタベ ～ 公開ワークインプログレス

1) 開催日時： 2023年12月6日(水) 18:30～

2) 場 所： ゲーテ・インスティトゥート ヴィラ鴨川

《実施内容》

ドイツ人映画監督と日本人音楽家とともに映像と音楽による即興パフォーマンスを披露、また光や映写を組み合わせ、実験的なライブ投影を行った。その後、音楽家による自作演奏や即興演奏のミニコンサートも開催した。

(4) 大阪ドイツ映画祭 2023

1) 開催日時： 2023年11月3日(金・祝)

2) 場 所： OIT 梅田タワー(常翔ホール)

《実施内容》

協賛として関わり、「フェモクラシー 不屈の女たち」「白バラの祈り ゴッホ・シヨル、最期の日々」「ハンナ・アーレント」「あしたの空模様」という4つのドイツ映画が上映された。

(5) ヤングリーダーズフォーラム

1) 開催日時： 2023年9月22日(金)～10月1日(日)

2) 場 所： ベルリン日独センター

《実施内容》

日独から各7名のヤングリーダー(ヤンマーグループからはエネルギーシステムから1名)が参加し、「豊かな高齢化社会をデザインする：若者の視点」をテーマに議論を重ね、日独の高齢化社会に対する課題を認識し、今後自国でどう取り組んでいくのかをまとめ、参加者全員と共有した。

2. その他活動

(1) 賛助会員募集

2016年12月から募った賛助会員は、2024年3月現在、法人167社、個人38名の計205会員となった。